

I 調査の概要

- 1 調査目的 自殺に対する国民の意識などの実態を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 自殺対策の現状等について
(2) 悩みやストレスに関することについて
(3) 自殺やうつに関する意識について
(4) メディア（新聞・テレビ・ラジオなどの情報媒体）について
(5) 今後の自殺対策について
- 3 関係省庁 厚生労働省（自殺対策推進室）
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 20 歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000 人
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成 28 年 10 月 13 日～10 月 30 日
- 6 調査方法 調査員による留置法（封筒による密封回収）
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 2,019 人 (67.3%)
(2) 調査不能数(率) 981 人 (32.7%)
—不能内訳—
転居 114 長期不在 76 一時不在 241
住所不明 29 拒否 457 その他 64
(病気, 白紙回収など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率		
				%					%		
性	男	20～29 歳	173	96	55.5	性	女	20～29 歳	160	91	56.9
		30～39 歳	215	118	54.9			30～39 歳	220	161	73.2
		40～49 歳	300	197	65.7			40～49 歳	286	215	75.2
		50～59 歳	201	131	65.2			50～59 歳	217	155	71.4
		60～69 歳	269	201	74.7			60～69 歳	270	204	75.6
	70 歳以上	308	214	69.5		70 歳以上	381	236	61.9		
計		1,466	957	65.3	計		1,534	1,062	69.2		